



松本市・乗鞍高原の取組（全国第1号登録）

※令和3年10月14日時点

1. 中部山岳国立公園と乗鞍高原

- ✓ 北アルプス一帯を占める我が国を代表する山岳公園。乗鞍高原は、公園南部の乗鞍岳東麓（標高1,200～1,800m）に広がる。
- ✓ 令和3年3月22日に、地域関係者協働により地域づくりビジョンである「のりくら高原ミライズ」*を策定。ゼロカーボンの推進が重要取組事項として定められた。

*併せてのりくら高原ミライズ構想協議会を設置し、取組事項について進捗管理



2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

①地域の脱炭素に向けた議論

- 令和3年6月29日に地元関係者一同が集い、学識者を招いた「のりくら高原ゼロカーボンフォーラム」を開催。今後も定期的にワークショップ等開催予定（次回は11月9日予定）。
- 脱炭素・脱プラ実現チーム*が主体となり、再生可能エネルギーの需要調査及び地域エネルギー消費量等の把握のためのアンケートを秋冬月頃から実施予定。
- 今年度中に地域の脱炭素ロードマップを策定予定。

*のりくら高原ミライズ構想協議会地域づくり分科会内に設置したチーム





松本市・乗鞍高原の取組（全国第1号登録）

※令和3年10月14日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

② サステナブルツーリズムの試行的取組

- のりくら観光協会が主体となり、脱炭素・脱プラの要素をツアーコンテンツに盛り込んだ「サステナブルキャンプ」を実施。20～30代のモニターから乗鞍高原のサステナブル化に向けたフィードバック及び意見交換会を実施。
- 令和3年10月23日に、学生を対象としたサステナブルツアーを実施予定。移動はEVバスを利用するなど、究極のサステナブルの実現を目指す。



③ 脱炭素の取組の実践

- 脱炭素二次交通システムの構築を見越したE-bikeサービス等の導入。
- アウトドア企業とコラボしたマイボトルの活用推進など。



3. 環境省における対応

現地の中部山岳国立公園管理事務所がコーディネーターとして、

- のりくら高原ミライズ構想協議会の協働事務局として、地元及び市との脱炭素の取組に関する連絡調整。
- 民間企業と乗鞍高原の脱炭素についての連携した取組の実施など。